

令和2年7月6日朝礼

九州の熊本では、たくさんの雨が降って川が氾濫し、多くの方が亡くなられたとのことで、心からお悔やみ申し上げたいと思います。このような災害は、私たちにとって決して人ごとではありません。先日も避難訓練をしましたが、私たちの大切な命を守るためにも、日頃から備えをしっかりとっておきたいものです。

さて、みなさんは、毎日楽しく元気に生活できるように手をよく洗ったり、人と人との間を空けたりして、気をつけて生活していることと思います。みなさんばかりでなく、日本中、いや、世界中の方が、新型コロナウイルスにかからないように気をつけて生活していると思いますが、中には残念ながら、かかってしまう人もいます。

病院では、新型コロナウイルスにかかってしまった人を、お医者さんや看護師さんが一生懸命治療や看護をしています。患者さんが多いときは、休む暇もなく、ご飯をゆっくり食べる暇もなく、中には家に帰らずに治療や看護をした方も多かったそうです。そういったお医者さんや看護師さんの努力もあり、新型コロナウイルスにかかってしまった人も、元気になった人が多いと聞いています。新型コロナウイルスは、とてもうつりやすい病気なので、お医者さんや看護師さんは、自分にうつるかもしれないという心配があると思いますが、「自分がやらなければ」という強い責任感をもって、お仕事をさせていただいていると聞いています。そのおかげで、多くの方の大切な命が救われていることに、私たちは感謝をしなければなりませんね。

しかし、中には、一生懸命治療にあたったお医者さんや看護師さん、それに、新型コロナウイルスにかかってしまった人や、その家族の方に、ひどいことをする人がいるそうです。「(コロナにうつるから)あなたとはもう会いたくない」「(うつるから)こっちへ来ないで」と言ったり、仲間はずれにしたり、中には、これらの人の家に石を投げたり、落書きをしたりする人までいたそうです。

これは、新型コロナウイルスだけではなく、病気にかかってしまった人や家族が、どんな気持ちでいるか、患者さんを治療したり看護したりするお医者さんや看護師さんがどんな気持ちで仕事をしているか、相手の気持ちを考えることができる人には、そんなことはできないはずです。

みなさんの生活の中で、似たようなことはありませんか。相手の気持ちを考えずに、ひどいことを言ったりひどいことをしてしまったりした人はいないでしょうか。相手の気持ちをしっかり考えることができれば、こんな残念なことはなくなると思います。みなさんには相手の気持ちをよく考えて行動できる人になってほしいと思います。